

# 進路だより



富岡特別支援学校

移行支援部 No. 6

令和4年11月29日(火)

## 高等部の作業学習 紹介

高等部では、生徒一人あたり二つの班（シルク加工グループ、スキルアップグループから各一つずつ）に所属しています。

【シルク加工グループ（縫製・組紐・織り・クロス加工）】

→ 月・火・水で実施。全ての班で絹を扱う。

【スキルアップグループ（サービス・基礎A・基礎B）】

→ 木、金で実施。就労を見据え、生徒の実態に応じて必要なスキルを培う。

以下に各班の作業内容をご紹介します。

### シルク加工グループ（月・火・水）

**縫製** 絹の反物や、織り班が作製した織物を使用して製品作りをしています。よりよい製品作りを心がけ、ミスした場合はやり直すなど、一つ一つ丁寧に作製しています。



**組紐** 細い絹糸を何本も使い、様々な組み方で1本の紐を組み上げます。立位で組むことにより、立ち仕事に耐えうる体力を身に付けたり、根気を育てたりすることができます。



**織り** 縦糸を通した“そうこう”を上下させ、糸を巻いたシャトルを横糸として通すことによって布を織ります。自分の作業量が分かりやすく、意欲的に取り組むことができます。



**クロス加工** 絹糸やシルク端切れなどを活用して小物を製作します。身だしなみ、手洗い励行、ミーティング参加などの基本的な就労スキルの獲得も目指しています。



### スキルアップグループ（木・金）

**サービス** 喫茶サービス部門、ビルメンテナンス部門の2つから成っています。

<喫茶サービス>

- ・サービス精神
- ・コミュニケーション
- ・臨機応変な対応

<ビルメンテナンス>

- ・清掃用具の扱い、手順
- ・責任感

・コミュニケーションなどのスキル獲得を目指しています。



**基礎A** 基礎的な作業を通して、・身だしなみを整える・挨拶や報告をする・手順に従う・着座して時間いっぱい作業を続ける、などのスキル獲得を目指しています。



**基礎B** 近隣の工場等からの受注作業を通して、・手指の巧緻性を高める・社会とのつながりを感じ責任感を育む、などのスキル獲得を目指しています。



すべての班において、卒業後の職業自立を目指し、「働くために必要な7ヶ条」や「身に付けたい言葉」を斉唱するなどして確認し、作業学習のねらいとしています。

#### 働くために必要な7ヶ条

- 1 体力をつける
- 2 あいさつ、返事、報告をしっかりと
- 3 分からないことを自分から聞く
- 4 身だしなみを整える
- 5 時間を守る
- 6 てきぱき行動し集中して作業に取り組む
- 7 注意や助言を素直に受け入れる

#### 身に付けたい言葉

- ・「失礼します」
- ・「先生、お願いします」
- ・「できました、確認お願いします」
- ・「わからないので教えてください」
- ・「ありがとうございました」
- ・「前/後ろ 失礼します」
- ・「お話中/お仕事中失礼します」
- ・「お先に失礼します」